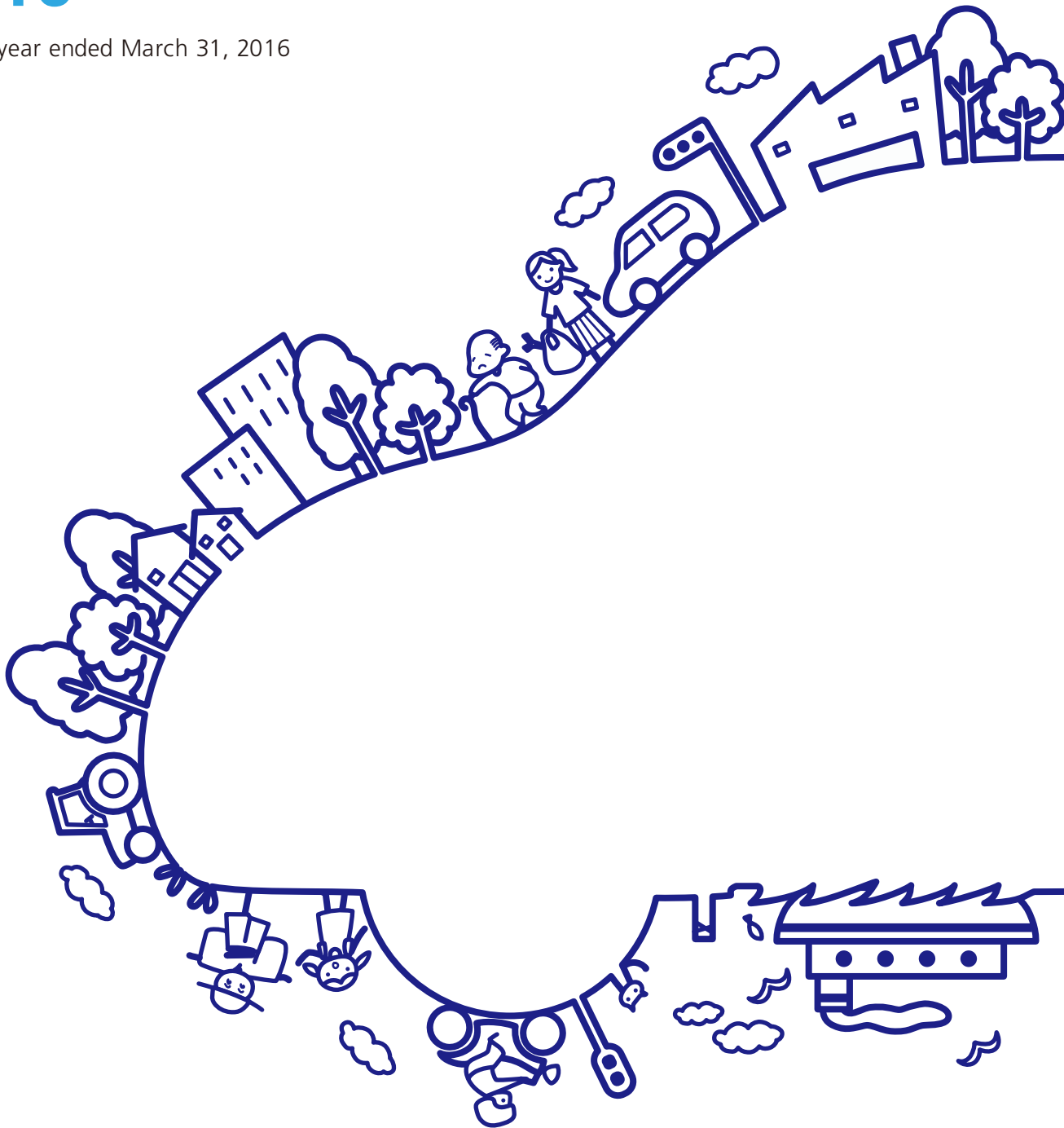
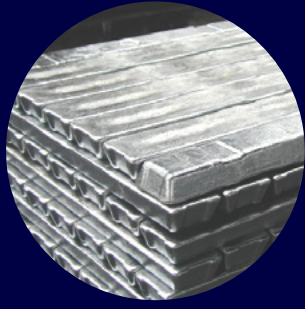


# Ahresty Report 2016

For the year ended March 31, 2016





*Ahresty*

# Research, Service, Technology

## を追求していきます

アーレスティは、R・S・T〈Research〉〈Service〉〈Technology〉という三つの言葉の統合です。

Rは単に研究・開発だけでなく、より一層お客様のお役に立っていくための創意と探求、

Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点、

そしてTはこのRとSを支える知識と技術を示しています。

私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求し、

さまざまな製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

## CONTENTS

<input type="checkbox"/> 株主・投資家の皆様へ	4	<input type="checkbox"/> 環境目標と実績	17
<input type="checkbox"/> 10年ビジョンと1618中期経営計画	6	<input type="checkbox"/> マテリアルフロー	18
<input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス	9	<input type="checkbox"/> 安全衛生	19
<input type="checkbox"/> 事業の概況	10	<input type="checkbox"/> 生きいきと活動する会社をつくる	20
<input type="checkbox"/> トピックス	14	<input type="checkbox"/> 会社情報	22
<input type="checkbox"/> 環境活動	16		



## 「信頼を究めよう 2025」を目指して

2015年度の売上高は円安の影響もあり、過去最高の1,445億円となりました。残念ながら中国の車両販売の偏りによる減少影響が大きく、グローバル生産量は微減となりました。収益面では、アメリカ工場の生産性改善による黒字化、メキシコ工場の収益改善、インド工場の売上増加による赤字縮小などが中国の収益減少を補いました。その結果営業利益では、54億円（2014年度25億円）とほぼ倍増しました。しかし営業利益率では3.7%と低く、2018年度目標とした5.5%に向けて改善を進めてまいります。

2015年度は、中期経営計画「1315計画」の最終年度でした。掲げた目標に向けた施策を推進し、成果につながっております。一方で道半ばの課題もあり、これらは2016年度から始まった「1618計画」に反映し改善を進めてまいります。「1315計画」では、生産準備活動のレベルアップとグローバル展開による新規製品の生産性向上、製造条件や品質保証の

しくみ改善などによる品質不具合と不良の削減、仕掛在庫など流動在庫の削減、技能者・技術員の教育、地域別改善共有活動などによる人づくり、RST Way実践レベル向上などの活動に成果がでております。

また、環境面では国内工場のCO<sub>2</sub>排出量原単位が2011年度比4%削減目標に対して、約10%削減の844.4Kg-CO<sub>2</sub>/tを達成いたしました。メキシコ工場においても2015年度後半より溶湯購入を開始しCO<sub>2</sub>排出量の削減につながり始めました。廃棄物量は、国内12サイト中10サイトにて2014年度より発生量が少なくなりました。2016年度からは再資源化率にも着目してまいります。さらに社会貢献活動は、国内従業員参画率62%以上を目標として活動を推進した結果、国内全事業所において目標を達成し事業所近隣での活動や森づくりなどによる貢献をいたしました。



2016年度からは、10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」に基づき中期経営計画「1618計画」を推進してまいります。

- ①大型高難易度製品の顧客評価 No.1 を実現する。
- ②ものづくりを究める
- ③生きいきと活動する会社を築く
- ④収益力を高める
- ⑤リスク管理を徹底する

の5つを柱にアーレスティの持続的成長を進めてまいります。皆様のご理解、ご支援を引き続きお願いいたします。

## 経営基本方針

常に生きいきと活動し

理論と実験と

創意と工夫を尊重して

品質のすぐれた製品と

行き届いたサービスを提供しよう

代表取締役社長  
最高執行責任者

高橋 新

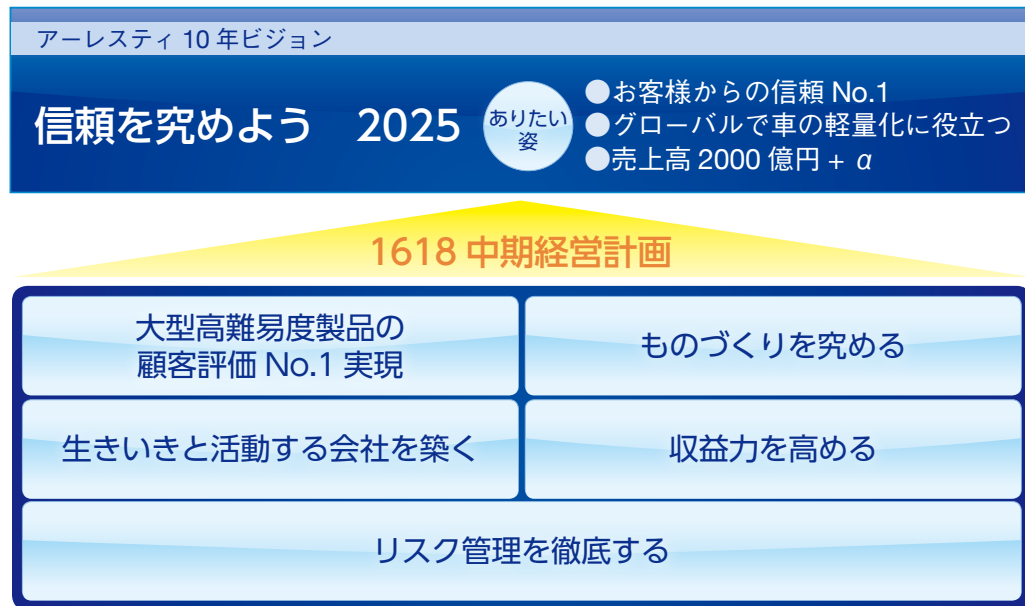
# 10年ビジョンと1618中期経営計画

当社は新興国における自動車需要の増加や先進国での自動車の軽量化、環境対応によるグローバルなアルミダイカスト需要の拡大に応え、中長期に企業価値を高めていくため、2015年度から新たな10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」をスタートしました。

10年ビジョンでは「信頼を究めよう 2025」を基本方針に、

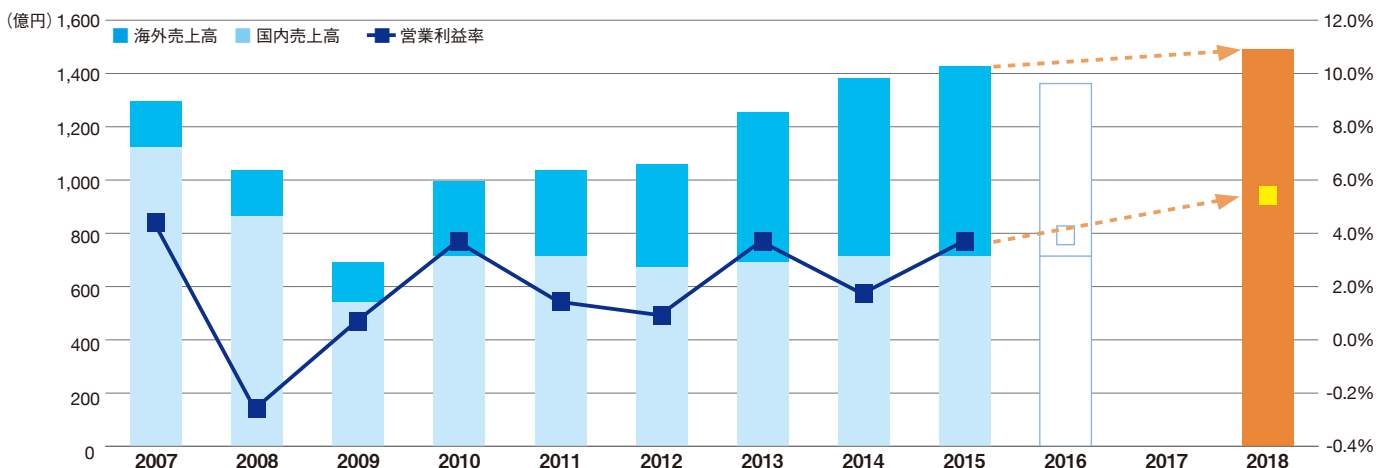
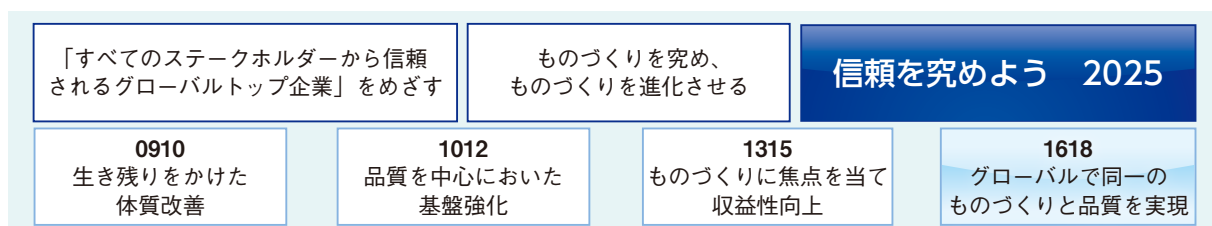
「お客様からの信頼 No.1」「グローバルで車の軽量化に役立つ」「売上高 2000 億円 +  $\alpha$ 」をありたい姿とし、お客様からの信頼を究めつつ、安定して持続的に成長していくための基本戦略を事業戦略、機能別戦略、マネジメントの取組みとして定めています。

## 1618 中期経営計画の基本方針



2016 年度からスタートした中期経営計画「1618 計画」では、ものづくりを究め進化させ、アーレスティプロダクションウェイを確立することを基本方針に、5つの柱を全従業員が積極的に活動し計画達成を目指して全力で取り組んでいきます。

## 10年ビジョンと中期経営計画の推移



# 1 大型高難易度製品の顧客評価 No.1 を実現する

大型で要求品質の高い部品の QCD を向上させることで顧客評価 No.1 を目指す。

自動車部品におけるアルミダイカスト製品は日本国内だけでなく、グローバルでの需要拡大や軽量化、環境対応が期待されています。中期経営計画では、当社がこれまで培ってきた強みを活かしたグローバルな営業展開を進めていきます。



<p><b>事業背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新興国を中心とした世界自動車生産台数の増加</li> <li>● ダイカスト部品の外注化の流れ</li> <li>● 燃費規制による軽量化ニーズの拡大</li> </ul>	<p><b>当社の強み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術力、グローバル生産拠点展開</li> <li>● ダイカストの設計から生産までの総合的な技術開発力</li> <li>● 一気通貫生産体制</li> </ul>
--	---

**1618 計画**

- 大型高難易度製品の営業活動をグローバルで推進
- 既存の日系メーカーのみならず、欧米系新規顧客に対しても積極的に営業活動を展開
- 投資効率、生産効率の優れたグローバルラインを構築し、全拠点に水平展開する。全世界でお客様に貢献する

# 2 ものづくりを究める

グローバルでしゅみを統一し、同質のものづくりと品質を実現する。

2015 年度までの 3 か年では、現場と設計が一体となったものづくりの再構築を実施してきました。その成果として、鋳造、加工ともに様々な改善施策が進捗しました。ものづくりの現場で活かす技術開発については、技術のロードマップに基づく施策を実施し、生産性改善技術・自動車の軽量化に貢献する技術の蓄積が進んでいます。

2016 年度からの中期経営計画では、これまでの技術・改善施

策をベースに、グローバルでしゅみを統一し同質のものづくりと品質を実現していくことで、ものづくりを究めていきます。推進体制として、ダイカスト鋳造、加工、金型、設計などの国内外の拠点の第一線の技術者をプロジェクトメンバーとして協力・切磋琢磨しながら各施策を推進しています。その中で品質、生産性に最も優れた工場をベンチマークとしながら、常に高い水準を目指す仕組みを取り入れています。

<p><b>グローバルレベルでの業務改革・標準化</b></p> <p>事業（製品、サービス）あるいは機能（Q、C、D など）の目的・目標に対し、付加価値を高めていくプロセスと体制をグローバルで同一の水準で構築する</p>	
<p><b>グローバル基準でものづくりプロセスを確立</b></p> <p>製造条件の分析結果に基づく継続的な生産性改善活動と改善結果の他拠点展開でグローバルでのしゅみを統一</p>	<p><b>信頼を究める品質保証の確立</b></p> <p>各部門、各製造工程で高い品質が保証されるしゅみを築く常にレベルアップを目指す改善活動を継続的に実施</p>
<p><b>技術のロードマップの実現</b></p> <p>技術のロードマップに基づく技術的な課題の解決と、他生産拠点へ水平展開の実施</p>	<p><b>徹底した製造原価低減活動</b></p> <p>更なる生産性向上や効率化・合理化による製造原単位の低減等により、製造原価の低減を実現</p>

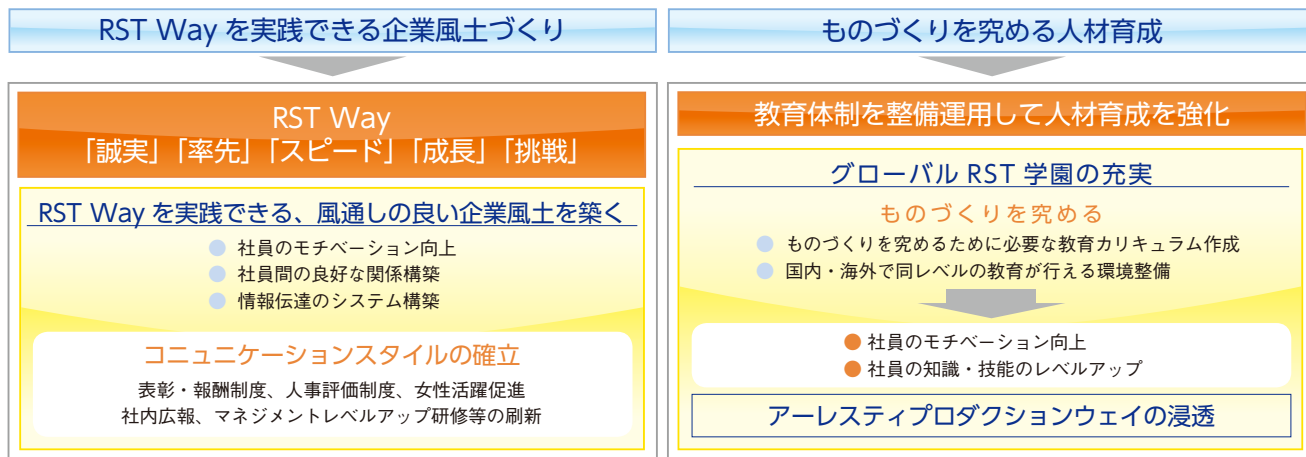
### 3

## 生きいきと活動する会社を築く

RST Way を実践できる企業風土づくりと人材を育成する。

実践に裏付けされたスキルを持つひとづくり、3現・2原に基づいた活動ができる技術者の育成のため、専門教育体系に基づく講座の開講、改善実践教育、国内外の技術者交流会等の施策の推進により、国内外で技術者が育ちつつあります。

中期経営計画では、RST Way の「誠実」「率先」「スピード」「成長」「挑戦」を実践できる企業風土づくりと人材育成を進めていきます。



### 4

## 収益力を高める

ものづくりを究める施策で製造原価を低減するとともに、収益管理の質を高める。

ものづくりによる原価低減や生産性向上及び収益管理の施策により、収益力の改善も進んでいます。

2016 年度からの中期経営計画では、ものづくりを究める施策とともに、各グループ企業における投資・資金効率の改善等を進めることで収益力を高め、株主・投資家の期待に応えていきます。

1618 中期経営計画 経営目標

売上高 1,500 億円	売上高営業利益率 5.5%
総資産当期純利益率 (ROA) 3.0%	自己資本当期純利益率 (ROE) 7.0%

中長期的な事業発展・企業成長のための財務体質と経営基礎の強化

**適正な利益還元**

### 5

## リスク管理を徹底する

BCP の訓練等により想定リスクに対する事業継続力を高める。

大規模な地震等の災害に対して当社グループだけでなく取引先も含めて、リスクに備えていくことで、当社の事業継続力を高めていきます。また北米、アジアに進出し、年々

グローバル化が進展している当社グループは、各国、地域に応じたリスクを想定して、事業継続計画の策定と訓練を進めていきます。



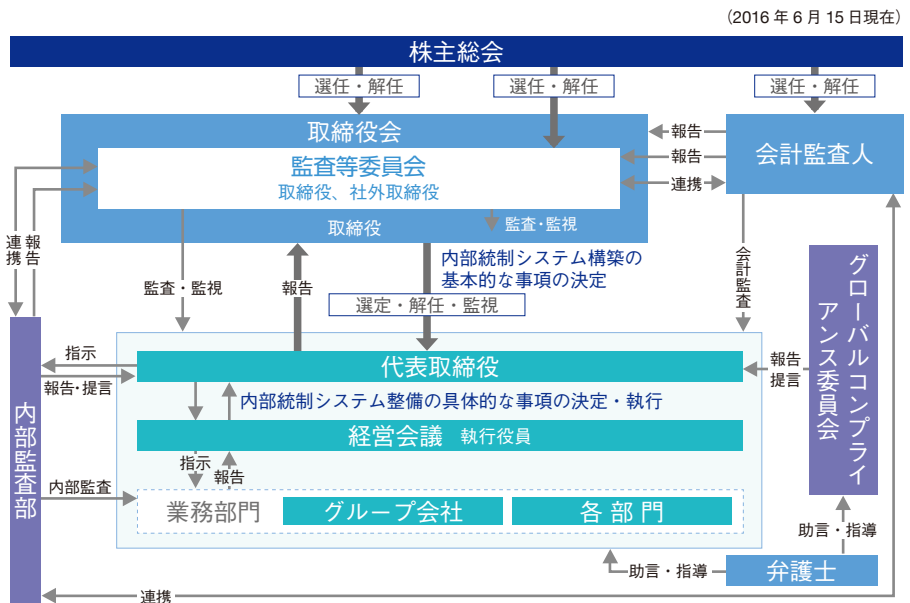
# コーポレートガバナンス

株主をはじめすべてのステークホルダーに対する経営責任と説明責任のため高い透明性を保ち、迅速な意思決定ができる経営体制を確立しています。

## コーポレートガバナンス体制

アーレスティは、取締役会の監督機能を強化するとともに、積極果敢な経営判断を行う体制を整備していくことが、経営と資本の生産性向上につながるものと考え、2015年6月から監査等委員会設置会社に移行しました。また経営の生産性向上を目的に、業務執行取締役等への権限移譲を行い、取締役会では経営に関する重要事項を中心に決定する体制としました。

2015年度には取締役会を13回開催し、中期経営計画等の経営戦略、コーポレートガバナンス、グループ経営管理などの議案に対して、社外取締役からも意見をもらい活発な議論を行っています。



## コンプライアンスへの取組み

当社グループでは、役職員にアーレスティハンドブックを配布しコンプライアンス基本方針及びアーレスティグループ行動規範の周知を行い、企業倫理の徹底と遵守に努めています。

また当社社長を委員長とするグローバルコンプライアンス委員会を年2回定例開催し、グループ全体のコンプライアンス上の課題と対応の議論を行っています。

### アーレスティグループ行動規範

日常の業務遂行において遵守すべき基本的事項を定めた「アーレスティグループ行動規範」を制定しています。

- ① 法令等の遵守（規範の趣旨・遵守の責任に関する規定）
- ② 顧客・取引先との関係（自由競争と公正な取引等に関する規定）
- ③ 株主・投資家との関係（企業情報、インサイダー取引等に関する規定）
- ④ 従業員との関係（人権尊重、プライバシーの保護等に関する規定）
- ⑤ 会社財産・情報の管理（企業秘密、知的財産等に関する規定）
- ⑥ 社会との関係（寄付行為、政治献金等に関する規定）
- ⑦ 実施要領について

## 積極的なIR活動

アーレスティは、株主・投資家との建設的な対話を行い良好な関係を維持していくことが重要と考えています。2015年度には決算説明会や経営方針会、工場見学等を通じて、経営方針・事業戦略や業界環境に関する理解を深めていただく活動を行ってきました。株主、投資家との対話で得られた意見については経営にフィードバックを行い、企業価値向上に努めています。

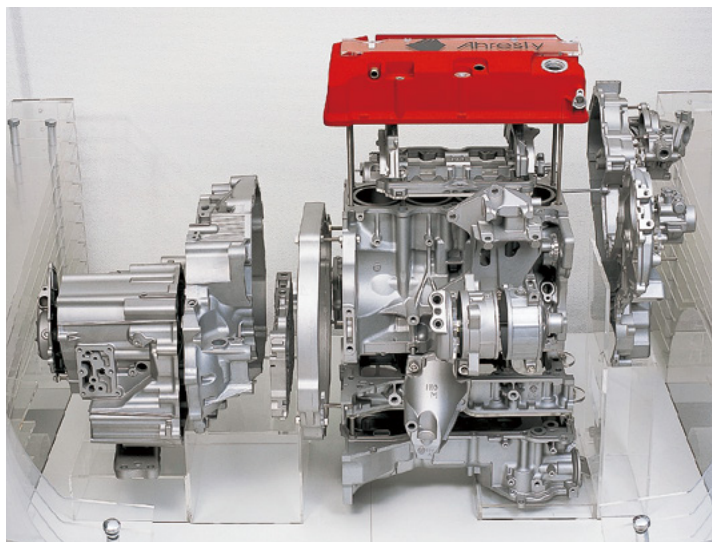


# 事業の概況

## ダイカスト

他社に先駆けて新技術を開発

ダイカスト業界でトップレベルの信頼を獲得



アーレスティの主力事業はアルミニウムダイカストです。自動車産業の発展とともに事業規模を拡大し、売上を伸ばしてきました。

多様化するニーズに応える一方で、ダイカストのネック技術の原因解明を行ってきた結果、他社に先駆けて新技術を次々と開発。従来ダイカストでできなかったものづくりを可能にし、品質や生産効率を向上させるなど、ダイカスト業界での地位を確立しています。

今後も、アルミニウムダイカスト、マグネシウムダイカストにおいて、軽量化、リサイクルを通して環境保護に貢献できるよう、さらなる技術革新を目指していきます。

### 主要なダイカスト製品

アーレスティが生産するダイカスト製品の9割以上は四輪自動車の部品です。その他に、オートバイ、発電機や船外機部品なども製造しています。

#### ■ アルミダイカスト製品

- ・エンジン用 ・トランスミッション用
- ・足回り部品 など

#### ■ マグネシウムダイカスト製品

#### ■ 金型鋳物製品（グラビティダイカスト）

#### ■ その他

- ・ダイカスト用金型
- ・ダイカスト周辺設備
- ・中古ダイカストマシン再生販売

#### ダイカスト製品の特徴

ダイカストのダイ（Die）は金型、カスト（Cast）は鋳物を意味しますが、一般的な意味のダイカストは、金型を用いて高速、高圧鋳造した鋳物やその製法を表します。

ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さや寸法精度に優れており鋳肌が美しいことです。

表面が滑らかな製品を製造することができるため、その後の加工処理が少なく済む利点があります。ダイカストのそのような特徴から複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

### 私たちは、ダイカストのリーディングカンパニーです。

アーレスティは、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に、様々なダイカスト製品を製造しています。

近年では、自動車の軽量化ニーズに伴い、ボディ・足回り関連部品のダイカスト化を積極的に推進しています。

#### エンジン《自動車の心臓部》

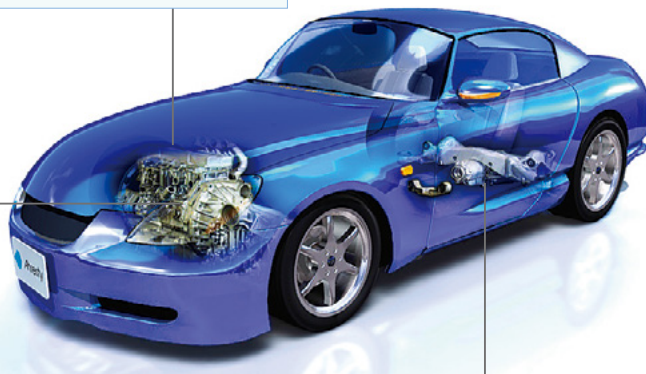
自動車の心臓部であるエンジンには、たくさんのダイカスト製品が使われています。自動車の高機能化に伴うエンジン部品の高品質化、軽量化の求めに応じて、シリンダーヘッドカバー、カムブラケット、シリンダーブロック、ラダーフレーム、オイルパン、チェーンケースなどのエンジン本体部品の他、各種ブラケット類などの部品がダイカストで作られています。

#### トランスミッション《動力伝達の要》

トランスミッションはエンジンで作られた動力を扱いやすい回転数に変換する機構です。大型、薄肉、複雑な形状に加え、高強度であるとともに寸法精度や外観品質が厳しく、トランスミッションケース、クラッチケース、ハウジングコンバーターをはじめ、オートマチックトランスミッションの油圧回路の制御に欠かせないバルブボディなどがダイカストで作られています。

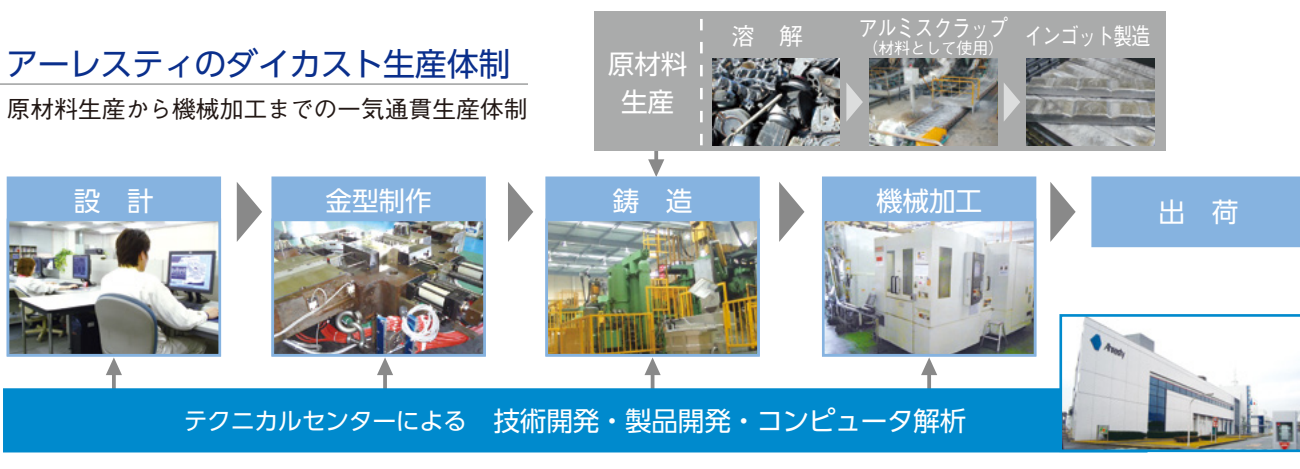
#### 足回り《走行安定性や走り心地に影響》

足回り部品の軽量化は走行安定性や乗り心地に大きな影響を与えるため、高級車を中心に急速に普及し始めています。足回り部品には剛性、強度、靱性、耐食性などが求められるため、NI法、MFT法などの新しいダイカスト工法で対応しています。これらの工法で作られるダイカスト製品としてはデフメンバー、ステアリングナックルなどの部品があります。



## アーレスティのダイカスト生産体制

原材料生産から機械加工までの一気通貫生産体制



## 今期の業績報告

### 【ダイカスト日本】

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費増税以来続く販売不振、軽自動車税引き上げによる国内販売の減速が続いています。一方で北米市場向けを中心とした輸出は好調を維持しています。これらの背景のもと、当社受注量はほぼ昨年同様となり、売上高は 63,583 百万円（前期比 0.6% 増）となりました。収益面においては、主に減価償却費の増加等により、セグメント利益は 2,769 百万円（前期比 14.3% 減）となりました。

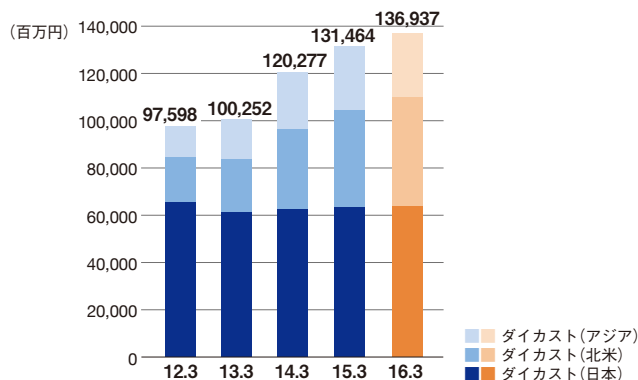
### 【ダイカスト 北米】

北米では、過去最高水準となる自動車販売の影響を受け受注が増加し、また、部品の新規立ち上がりや、円安基調にある為替換算影響などもあり、売上高は 45,760 百万円（前期比 12.6% 増）となりました。収益面においては、生産性改善等の施策によりアメリカ工場及びメキシコ工場の収益が改善したこと等により、セグメント利益は 1,521 百万円（前期はセグメント損失 1,295 百万円）となりました。

### 【ダイカストアジア】

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーの車種別販売動向等の影響を受け受注は減少しました。インドでは、新規部品の量産開始効果により売上が増加しました。これらの影響に加え円安基調にある為替換算影響等により、アジアでの売上高は 27,594 百万円（前期は売上高 27,584 百万円）となりました。収益面においては、インド工場における収益改善等の影響や中国における原価低減活動の効果があったものの、中国での受注減少の影響が大きく、セグメント利益は 573 百万円（前期比 13.5% 減）となりました。

### 売上高推移



## 来期への展望

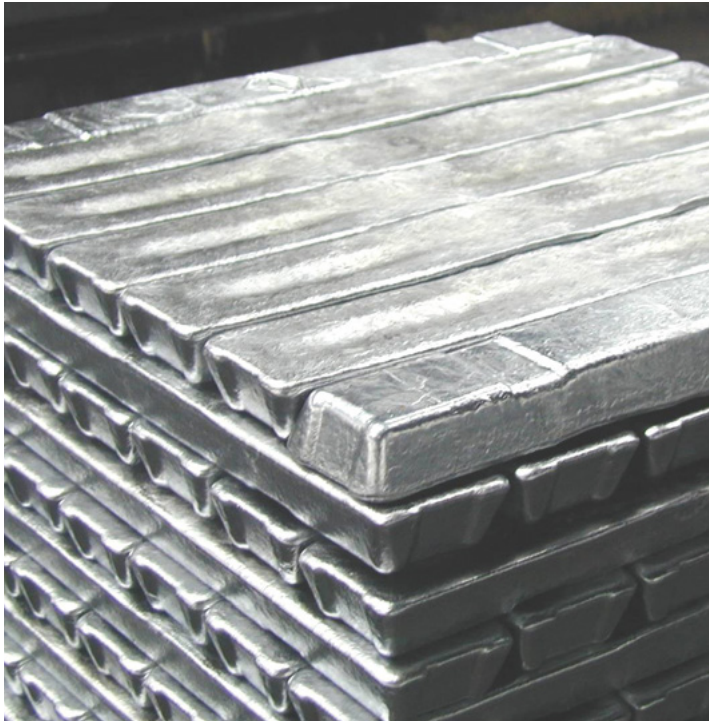
今後の経済見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続くものと予想される一方、足元の国内自動車販売の状況や円高基調の為替影響等から、国内市場環境は厳しさが続くことと予想されます。また、米国などの先進国では緩やかな回復基調が見込まれるものの、米国の金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、原油価格等の下落の

影響等不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ 10 年ビジョン」の「信頼を究めよう 2025」を基本方針に、ものづくりを究め進化させ、アーレスティプロダクションウェイを確立することを基本とした施策展開により持続的成長を目指してまいります。

## アルミニウム合金地金

業界トップクラスの設備とノウハウで、  
多様な材料から高品質の製品を生産

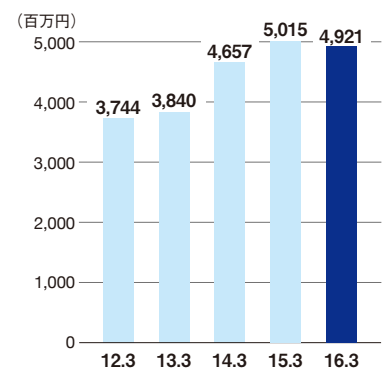


アーレスティのアルミニウム合金地金は、ダイカスト向け（AD系）合金や鋳物向け（AC系）合金の他、特殊用途向けのアルミニウム合金地金など、約40種類の地金を生産しています。全国から集まるアルミニウム缶、サッシ、自動車の解体スクラップなどの他に、アルミニウム新塊や添加材などの原材料をもとにアルミニウム合金地金を生産しており、アーレスティが持つ分析機器やノウハウを活用し、厳しい管理のもと、品質の優れた工業用地金を提供しています。

アルミニウム事業を行うアーレスティ熊谷工場は、1958年業界初の日本工業規格（JIS）表示許可工場、1997年全国初めて改正民活法におけるアルミニウム缶リサイクル施設として認定を受け、アルミニウム合金地金の現有月産能力は3,000トンです。生産された地金は日本各地へと出荷され、顧客から高い信頼を得ています。



売上高推移



### 今期の業績報告

アルミニウム事業においては、受注量が前期比で微減となったこと等により、売上高は4,921百万円（前期比1.9%減）となりました。収益面においては、原材料市況変動による影響と原価低減活動による効果等により、セグメント利益は338百万円（前期はセグメント利益5百万円）となりました。

### 来期への展望

日本国内においては、主要顧客となる自動車の国内販売の低迷が続いておりますが、自動車販売の拡大が続く北米や中国はじめアジア新興国向け輸出を中心に、生産の回復が一部では見込まれます。

為替相場や原材料市況が大きく変動する状況下、割安感のあ

る輸入塊の増加という課題もあり、当事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような環境下においても、一層の原価低減と生産性向上活動を推進していくことで、為替や市況に左右されないリーナな体質の強化を図っていきます。

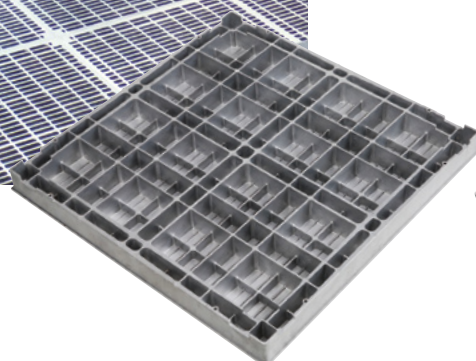
## 完成品

### 各方面で導入が進むフリーアクセスフロア 時代のニーズに応じて次々と新製品を開発



1962年、アーレスティは日本で最初のアルミニウムダイカスト製のフリーアクセスフロアパネル「モバフロア」を開発しました。フリーアクセスフロアとは、配線・配管を床下に納める二重床システムのことです。一般オフィスや病院などに幅広く利用されていますが、当社では特に半導体生産工場などのクリーンルームやデータセンター、コンピュータールーム用フロアパネルに注力しています。

アルミダイカスト専門メーカーの自負・高い技術力を背景に、最軽量フリーアクセスフロアを商品化。アルミダイカスト単一材なので100%リサイクルであり、軽量化により輸送に伴うCO<sub>2</sub>削減効果、建築躯体への重量負担減による長寿命化に貢献、期待ができます。

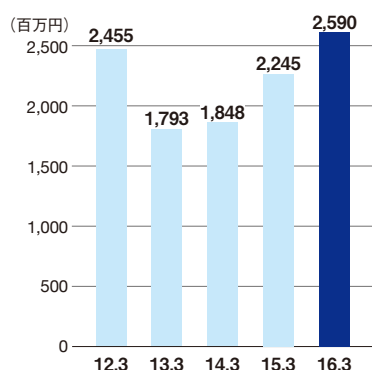


モバフロア L60N



モバフロア L60S

#### 売上高推移



#### 今期の業績報告

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は2,590百万円（前期比15.4%増）となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等により、セグメント利益は212百万円（前期比153.3%増）となりました。

#### 来期への展望

2015年度は日本国内のクリーンルームとコンピューターの市場が増えた事により、直近5か年の中で過去最高の売上高が確保出来ました。2016年度は市場全体が少し減少する見通

しですが、企業努力を重ね競争力を強化してモバフロアを販売し社会に貢献したいと考えております。海外においては中国を中心に拡販を行い事業の拡大を目指します。

# トピックス

## 2015年の動き

- 1月 国内外全てのダイカスト鑄造・加工工場で ISO/TS16949 の認証取得を完了
- 3月 アーレスティ栃木鑄造工場拡張工事着工
- 6月 アーレスティウイルミントン増築工事竣工
- 9月 アーレスティ栃木鑄造工場拡張工事竣工

### (株)アーレスティ栃木 第6工場増設 一部稼働開始

当社子会社である (株)アーレスティ栃木では、受注量増加に伴う能力増強のため第6工場を増築（建物は2015年9月竣工）し、設備工事を行っております。

ダイカストマシンの設置は既に完了し、稼働開始しました。ほか、第6工場の設備工事は2016年11月完了を予定しております。

今回の能力増強により月当たりの生産能力は従来に比べ6%増加し3,000トンになる予定です。また第6工場増築にあたり、複数工程の同期化、省人化、在庫削減、製造条件管理など製造ラインにおける理想のコンセプトを掲げております。このコンセプトを実現し今後も品質の優れたダイカスト製品を安定的に供給し、より一層お客様のお役に立てるよう取り組んでまいります。



栃木工場

### 第72回 世界鑄造会議 WFC2016 展示会

2016年5月22日より3日間にわたりポートメッセなごやにて世界鑄造会議 WFC2016 展示会が開催されました。

世界鑄造会議は日本では26年ぶりの開催であり、展示会は盛大に開催されました。

当社はダイカスト製品及び特殊工法の紹介等を展示いたしました。当社の展示するブースには多くの来場者様が見えられ、盛況な展示会となりました。



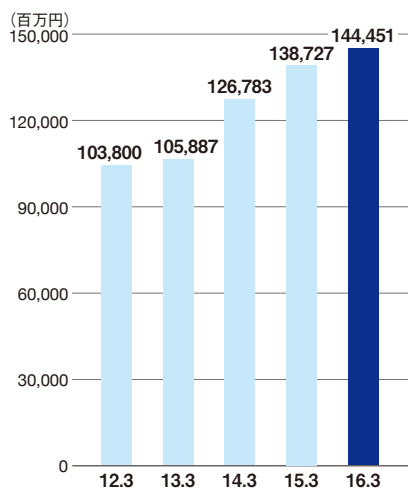
### 新製品 「クローズドジェットクールシステム」発売

当社子会社である (株)アーレスティテクノサービスでは、2015年11月に従来のジェットクールシステムの機能はそのままに循環式の閉回路として繰り返し冷却水を使用するクローズドジェットクールシステムを発売開始しました。水環境の悪い地域でも使用を可能にし、水のコスト削減を実現しました。

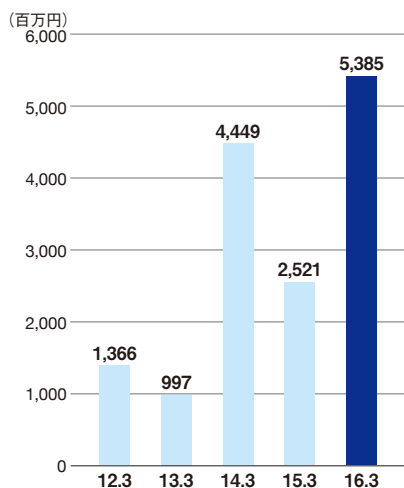


# 連結財務ハイライト

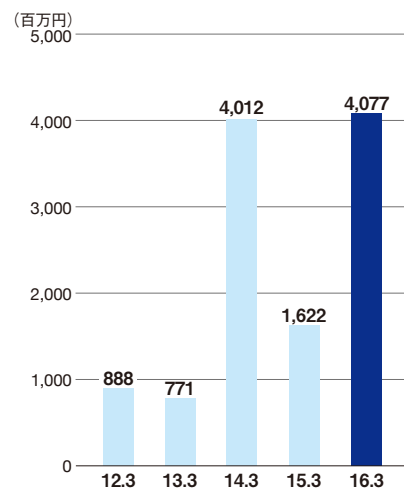
売上高



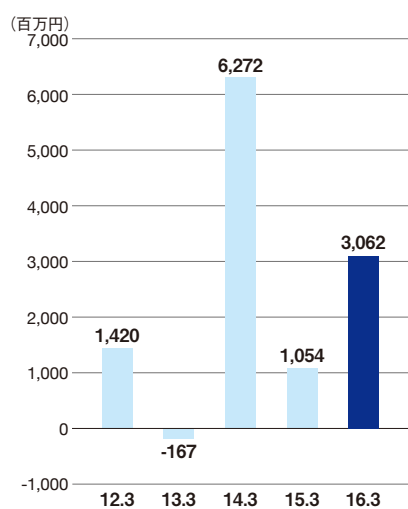
営業利益



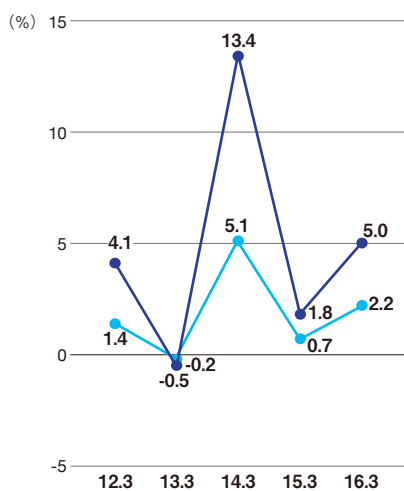
経常利益



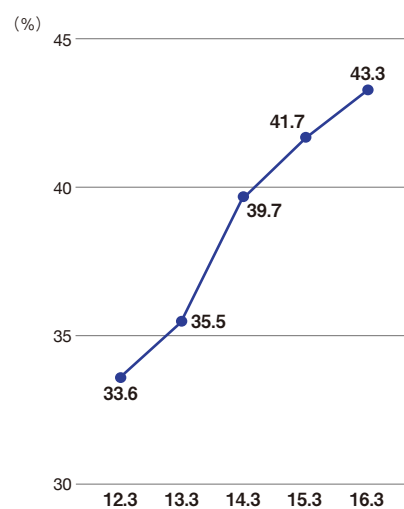
当期純利益



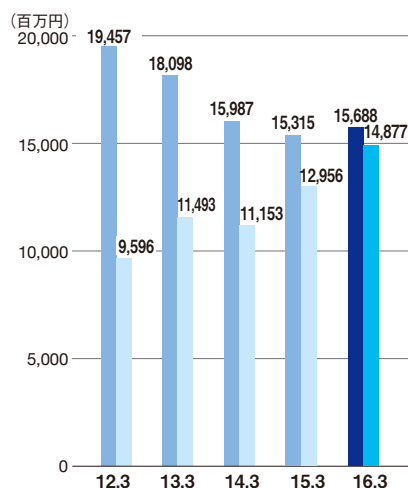
自己資本当期純利益率 (ROE)  
総資産当期純利益率 (ROA)



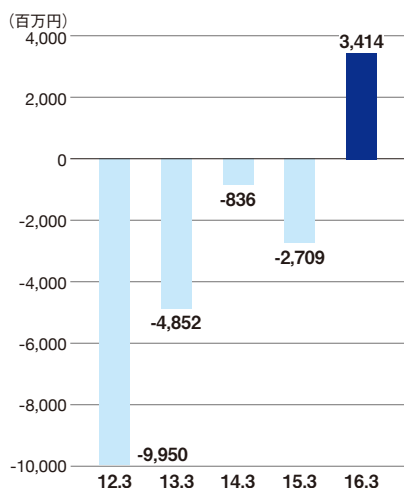
自己資本比率



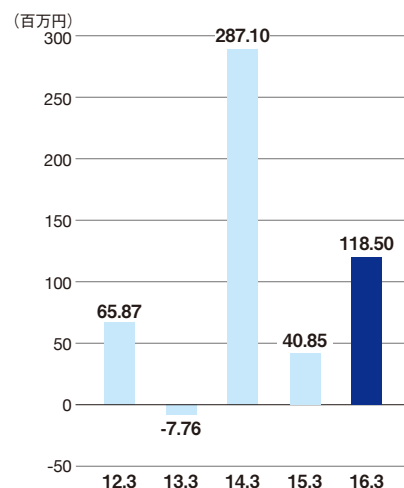
設備投資額※1 / 減価償却費※1



フリー・キャッシュ・フロー※2



1株当たり当期純利益



※1 金額は金型を含みます。 ※2 フリー・キャッシュ・フロー = (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (投資活動によるキャッシュ・フロー)

# 環境活動

公害防止活動を始め、地球温暖化防止や資源枯渇対策のための省エネ省資源活動など、生産活動による地球環境への負荷低減に取り組んでいます。

## 環境方針

1. 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
2. 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取り組みます。
3. 私たちは特に次の項目について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取り組みます。
  - ① 大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
  - ② 廃棄物の再資源化 100%を維持します。
  - ③ 廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
  - ④ CO2 排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
  - ⑤ 環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取り組みます。
4. 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
5. 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

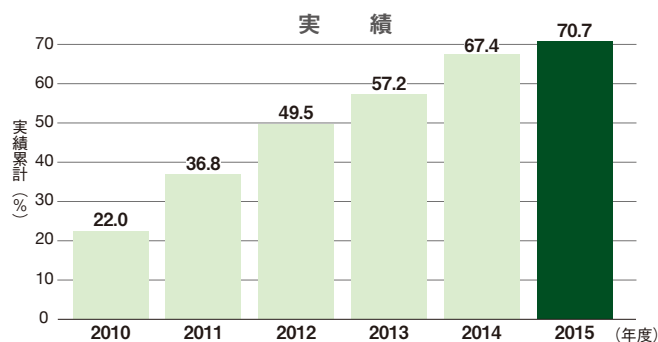
～ 私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします ～

2005年4月18日 改2

株式会社 アーレスティ 取締役社長 高橋 新

## Ahresty eco ライセンス

社員の環境の知識向上を図るため、「Ahresty eco ライセンス」という、環境に関する独自の社内試験制度を設けています。年に数回の試験を実施し、現在まで7割以上の社員が合格し、日々環境意識の高い活動を行っています。



## アーレスティ・グリーン大会

アーレスティ・グリーン大会とは、環境の改善活動を行った人たちの活動事例報告会で、今回で第13回の開催となりました。ここで報告された効果的な活動は、他の事業所でも水平展開されるべきとし、各事業所横断的な省エネ活動も推進しております。



事業所	テーマ内容
東海工場	金型予熱バーナガス使用量削減
アーレスティ プリテック	エアロス削減活動
東松山工場	夏の日差し対策、受水槽交換と緑化
熊谷工場	切粉乾燥炉ガス原単位削減
アーレスティ 栃木	水処理から発生する汚泥産廃量の低減
アーレスティ ダイモールド栃木	一般ゴミの処分量の低減
アーレスティ 山形	離水汚泥の含水率低減
アーレスティ 熊本	手許炉昇温によるLPG使用量の削減



# 環境目標と実績

公害防止等の足元のことから、近年最も求められている CO<sub>2</sub> 削減、アーレスティならではの社内環境資格や社会貢献活動においても、結果を出せるように努めています。

## 2015 年度環境目標と実績

### 国内目標と実績

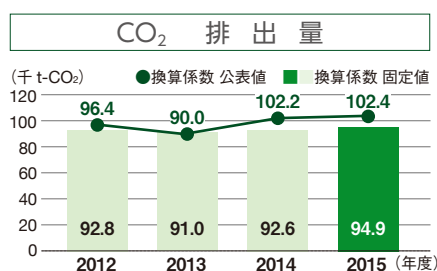
環境区分	中期目標・施策	2015 年度目標	2015 年度結果	評価※	2016 年度目標
大気 水質 騒音等	大気汚染、水質汚濁、騒音公害などの環境問題を発生させない	社外流出、苦情の不適合をゼロにする。	2 事業所でそれぞれ外部流出、騒音に関する苦情が発生した。	1	社外流出、苦情の不適合をゼロにする。
廃棄物	廃棄物の総量削減を進める	廃棄物の総量削減を進める ●アーレスティ栃木：13 年度比 20% 削減 ●アーレスティリテック：10 年度比 10% 削減 ●東海工場：13 年度比 20% 削減	廃棄物総量の多い事業所にて目標を設定した。東海工場は目標達成となり、アーレスティ栃木及びアーレスティリテックは、目標未達となった。	2	最終処分量（埋め立て）を削減し、再資源化率 100% にする。（サーマルリサイクル等による残渣を除く）また、総廃棄物原単位を、前年度比 1% 以上削減する。
省エネ 省資源	地球温暖化対策として、CO <sub>2</sub> 総量削減を行う	CO <sub>2</sub> 原単位を 2011 年度比 4% 削減（すでに達成している事業所は前年度 1% 削減とする）及び、電気需要平準化評価原単位を 2014 年度比 1% 削減する	主要 6 工場延べ実績では達成（903kg-CO <sub>2</sub> /t に対して 844 kg-CO <sub>2</sub> /t）。事業所別では、7 事業所が目標達成し、4 事業所が未達成。※電力係数は固定値で評価	3	●CO <sub>2</sub> 原単位を 2012 年度比 4% 削減。（すでに達成している事業所は前年度 1% 削減とする） ●電気需要平準化評価原単位を 2014 年度比 2% 削減する。
	工程に使用する水の使用量を削減する	2011 年度水使用原単位の 7% の削減活動を行う。	対象の 5 事業所中、3 事業所で目標を達成。	3	水使用原単位を 15 年度比 1% 削減する。
その他	環境に対する意識を高める	各事業所において正社員の 57% 以上を「Ahresty eco ライセンス」合格者とする。すでに達成している事業所は、事業所個別目標を設定する。	全事業所で目標達成。累計の合格者数 1,470 名（70.7%）。	5	各事業所において正社員の 64% 以上を「Ahresty eco ライセンス」合格者とする。すでに達成している事業所は、事業所個別目標を設定する。
	社会貢献活動を推進する	参画率を 62% 以上、一人当たりのエコポイント取得平均を 140 ポイント/年以上にする	参画率 81.1%、一人当たり 161.5 ポイントとなり達成。	5	参画率を 63% 以上、一人当たりのエコポイント取得平均を 140 ポイント/年以上にする。

※目標達成度 5 達成 1 未達成

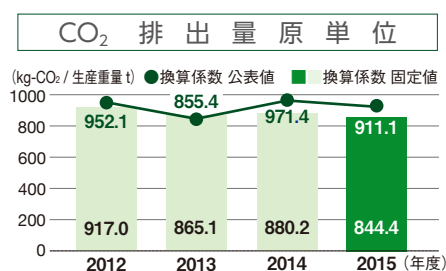
グローバルでの環境管理のため、海外工場においても、CO<sub>2</sub> 削減、水使用量の削減など、国内同様の対象区分で環境目標を策定しています。

## 経年変化について

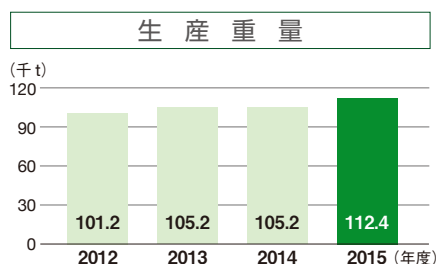
CO<sub>2</sub> は活動の削減効果を評価するため、CO<sub>2</sub> 換算係数を過去から固定値で算出しています。排出物量については、活動の成果もあり、昨年度から更に削減しています。



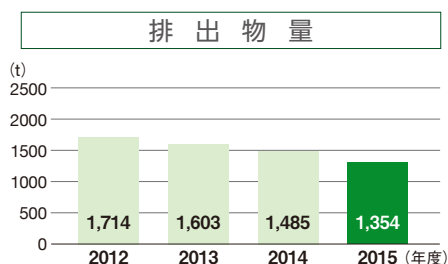
燃料や電気の使用を CO<sub>2</sub> 量に換算した値です。なお、折れ線グラフで電力会社公表の換算係数で算出した CO<sub>2</sub> 量を併記しています。



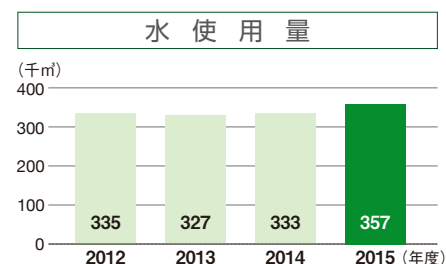
CO<sub>2</sub> 排出量を生産重量で割った値で、1t の生産にいくらの CO<sub>2</sub> を排出したかがわかります。



アーレスティが生産した製品の重量です。エネルギー使用量は生産重量に比例します。



鉄やアルミを除く、事業所からのすべての排出物で、廃棄物、有価物も含んだ量です。



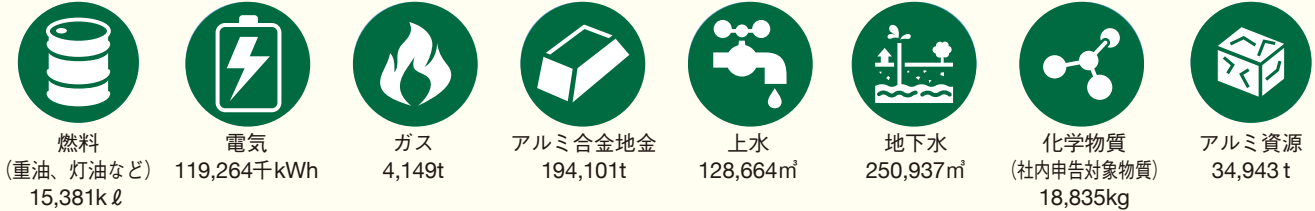
上水及び地下水の使用量です。2011 年度より水資源の節減も目標に加えています。

※経年データの存在する国内主要 6 工場のみ数値

# マテリアルフロー

様々なエネルギー、資材を使い、必要なコストをかけて製品を生産しています。

## INPUT (使用)



対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日  
(単位：千円)

分類・主な取り組みの内容		環境保全コスト	
		投資額	費用額
事業所エリア内コスト			
内 訳	●公害防止コスト 排水処理設備管理・更新・設備導入、排ガス処理及び集塵装置の維持管理、騒音対策	27,715	88,111
	●地球環境保全コスト 省エネ活動(電気、重油)、省エネ設備導入、工場緑化、維持電力監視モニター	11,631	11,663
	●資源循環コスト 水の循環利用、廃棄物・資源ごみの処理(分別・処分)、再生油の使用	3,750	233,803
小 計		43,096	333,576
●上・下流コスト グリーン購入 有価物売却(費用額欄に収入額を記載)		—	23,160 37,130
●管理活動コスト 環境委員会、内部監査、ばい煙・ダイオキシン・排ガス・騒音測定、社内教育訓練、ISO14001 認証維持		—	13,307
●研究開発コスト 合金協会(環境保全テーマ)、地金中環境負荷物質調査		—	6
●社会活動コスト 工場見学の受入れ、地域清掃活動、近隣コミュニケーション活動、ボランティア活動、NPO 寄付		—	780
●環境損傷対応コスト 汚染負荷量賦課金		—	1,217
小 計		—	38,470
収 入 計		—	37,130
合 計		43,096	372,047

※投資は設備等固定資産になるもの 費用はその他  
※電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、最新の電力会社公表値(2014年度値)を使用

## OUTPUT (生産・排出)



# 安全衛生

アーレスティでは、安全最優先の原則のもと生産活動を行っています。  
様々な安全衛生活動を行い、全社をあげて安全な職場を目指しています。

## アーレスティ安全理念

よく口にされる”安全第一”という言葉の内容を明文化し、その風土づくりをより徹底していくため、アーレスティグループで、「アーレスティ安全理念」を掲げ、活動をしています。

### アーレスティ 安全理念

- 1、安全は、全ての作業に優先する
- 2、安全は、いかなる業務よりも重要である
- 3、安全は、常に生産効率よりも優先される
- 4、安全は、職場の整理・整頓・清掃から始まる
- 5、安全を優先できない人は、アーレスティには不要である

### アーレスティグループ 安全スローガン

「非正常作業に危険あり！  
KY やって決め事守り  
みんなでつくろうゼロ災職場！」

### 2015 年度重点活動実績

- リスクアセスメントの有効活用による、職場の安全性の向上
- 事業所内で、リスクアセスメントを教えらるインストラクターの育成
- 人づくり、風土づくりを意識した安全感受度向上活動でのルールを守る職場の実現
- 強化月間の設定による安全感受度向上活動
- KY 重点テーマ設定による安全感受度向上活動

## 安全人間評価

この「安全人間評価」とは、管理監督者並びに作業者がそれぞれに応じた安全に関する知識を持ち、日々それを実践して安全に日常業務を遂行できる「安全人間」をつくっていく活動です。評価項目は十数項目あり、備えるべき安全に関する力量や意識を身に付けてもらうためフォローを行っています。

※監督者 評価項目例

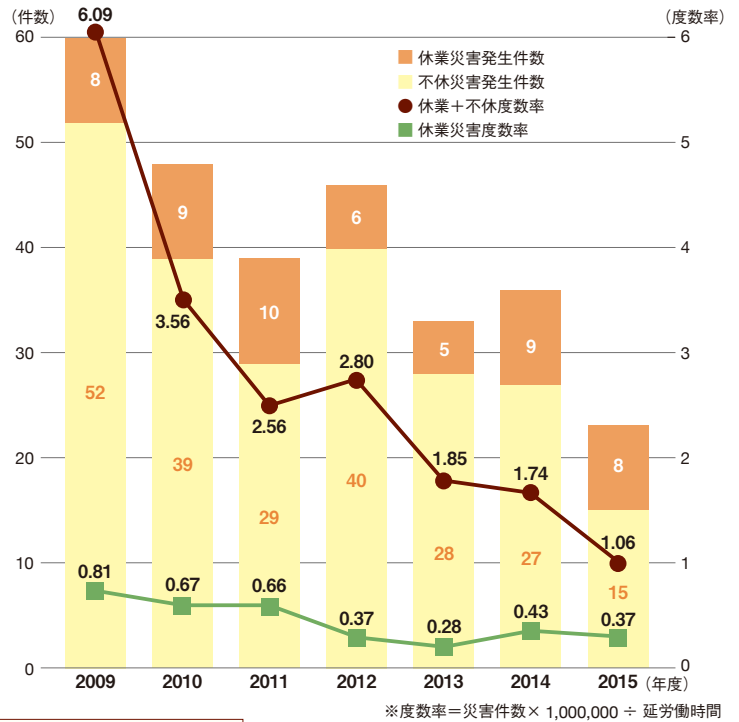
評価項目
常にルールを遵守して、指差し呼称など部下の見本となる行動をとる。
朝礼や昼礼時は、必ず安全に関する話をする
法定・社内点検の計画をつくり、必要点検表を準備する
安全に関するルールや基準が制改定されたら、自職場における遵守事項について、必要な部下へ速やかに周知する。
標準の無い作業は「とめる・よぶ・まつ」を部下に周知徹底する。
自職場に必要な安全に関するルール・基準・標準作業書の安全ポイントについて、部下へ教育を行う。
職場を毎日巡視し、不安全行動を発見したらその場で厳しく指導する。
作業環境測定の結果から、必要な保護具の着用指示や、作業環境改善を行う。

## 月間強化テーマ活動

重大災害のリスク低減や、過去発生災害の再発防止のために、「設備安全の不足」「安全感受度不足」の是正が必要と考え、引き続きリスクアセスメント実施や各設備安全仕様の整備、各職場にて、毎月テーマを決めての職場パトロール徹底やヒヤリハット気になり、KY活動をグローバルで展開しています。



## 災害統計



# 生きいきと活動する会社をつくる

## 地域社会とともに

アーレスティは、地域社会に根ざした工場を目指して日々努力すると共に、自らが率先して社会へ貢献できる人材を育てています。  
地域社会と共にアーレスティは発展していきます。

### 積極的な自然環境保護活動への貢献

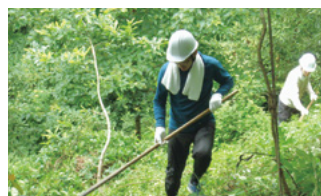
アーレスティは、アルミダイカストの製造を通じて、自動車の軽量化、環境対応に貢献してきました。社員からの「仕事以外でも環境保護活動に貢献したい」という声をもとに、自然環境保護活動に積極的に取り組んでいます。

2007年から埼玉県越生町に「アーレスティの森」を持ち、東松山工場・熊谷工場、東京本社合同で植栽や間伐等の森林整備活動を行っています。



### 活動事例

- アーレスティの森づくり(里山づくり)
  - 岩屋緑地里山ボランティア活動
  - フラワーロード清掃  
及び河川アダプト活動
  - 介護施設クリーンボランティア
  - 赤十字血液センター献血ボランティア
  - 浜名湖クリーン作戦
  - 荒川の恵みと熊谷を考える集い
  - 天竜川クリーン作戦
  - 梅田川ふれあいクリーン作戦
- など計約80イベント



### 近隣コミュニケーション

アーレスティの工場では、ダイカストの製造段階や運搬車両によって発生する音等の発生源対策を進める一方、工場に隣接する住宅や自治会、企業などを訪問し、本レポートを活用した定期的なコミュニケーションに努めています。また、地域社会の安全活動の一環として防犯パトロールへの参加なども行っています。

### グローバルな企業市民の一員として

アーレスティは、1988年に米国法人設立以降、5か国にグローバル生産拠点を展開しています。グローバルでも地域社会に根ざした企業として、積極的に地域との交流を行っています。



## アーレスティのひとづくり

アーレスティは、社員一人ひとりが、仕事を通じて成長し、自分の仕事に対して誇りを持って働ける職場づくりを常に目指しています。

### RST Way 誠実、率先、スピード、成長、挑戦

アーレスティの経営基本方針は「常に生きいきと活動し」から始まります。この経営基本方針を社員一人ひとりが実現するための考え方や行動の基本となるのが、RST Wayの5つの行動基準「誠実」「率先」「スピード」「成長」「挑戦」です。2015年度、日々の行動でのRST Wayの実践を標語にしたコンクールを国内グループ会社で実施しました。またRST Wayは海外拠点でも、アーレスティの行動基準として定着しています。



標語ポスター



### グローバルでのひとづくり

アーレスティでは、一人ひとりの成長のための「ひとづくり」に力を入れています。全社員が受講する「共通教育」、マネジャー向けの「マネジメント教育」、各種の専門技術を学ぶ「専門教育」の3つがあり、体系的に教育を受講出来る体制を整えています。現場技能指導者の育成プログラムを、2015年度から海外工場にも展開し、KAIZENをグローバルで進めてきました。



### 活発なコミュニケーション

仕事でのチームワークは日頃の円滑なコミュニケーション活動から始まります。アーレスティでは、業務はもとより、スポーツやイベント活動でもコミュニケーションが活発です。



# 会社情報

## グローバル展開

世界中のお客様のニーズに対応するため、積極的にグローバル展開を推進しています。

### 主な海外事業所



#### Ahresty India Private Limited

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付  
月産能力：1,100t  
敷地面積：58,500㎡

#### 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司

事業内容：ダイカスト製品用金型製作  
敷地面積：8,748㎡



#### 広州阿雷斯提汽车配件有限公司

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付  
月産能力：2,700t  
敷地面積：81,825㎡



#### Ahresty Wilmington Corporation

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付  
月産能力：1,900t  
敷地面積：170,000㎡

#### Thai Ahresty Die Co., Ltd.

事業内容：ダイカスト製品用金型製作  
敷地面積：16,940㎡

#### Thai Ahresty Engineering Co., Ltd.

事業内容：ダイカスト製品設計、  
ダイカスト製品用金型設計、  
3Dデータのモデリング

### 株式会社アレスティ



#### 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

事業内容：ダイカスト製品の製造、機械加工、  
部品組付、フリーアクセスフロア製造  
月産能力：1,300t  
敷地面積：50,500㎡

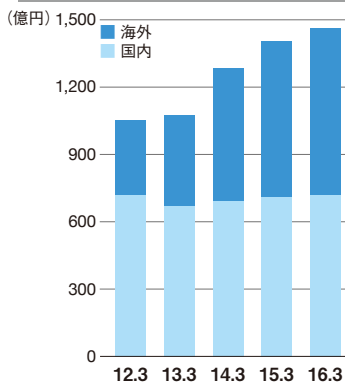


#### Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

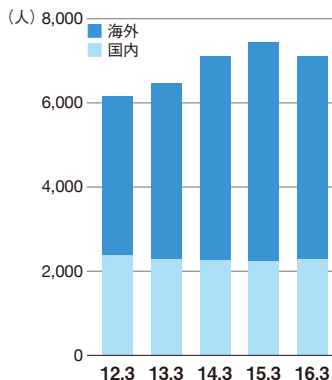
事業内容：ダイカスト製品の製造、機械加工、  
部品組付、ダイカスト製品用金型製作  
月産能力：2,600t  
敷地面積：100,000㎡

### 売上高／従業員数推移

#### 国内・海外売上高



#### 国内・海外従業員数



### 主な国内事業所

#### (株)アレスティ栃木

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付  
月産能力：3,000t  
敷地面積：97,844㎡

#### (株)アレスティダイモールド栃木

事業内容：ダイカスト製品用金型製作  
敷地面積：6,612㎡

#### 熊谷工場

事業内容：アルミニウム合金地金の製造  
月産能力：3,000t  
敷地面積：47,105㎡

#### (株)アレスティ山形

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付  
月産能力：500t  
敷地面積：35,156㎡

#### 東松山工場

事業内容：ダイカスト製品の製造、  
機械加工、部品組付、  
フリーアクセスフロア製造  
月産能力：300t  
敷地面積：22,781㎡

#### 東京本社

#### (株)アレスティダイモールド浜松

事業内容：ダイカスト製品用金型製作  
敷地面積：13,320㎡

#### (株)アレスティテクノサービス

事業内容：ダイカスト周辺機器の製造・  
販売・修理 ほか  
敷地面積：9,241㎡

#### (株)アレスティプリテック

事業内容：オートバイ・自動車・汎用機の主  
要構成部品の精密機械加工  
敷地面積：23,616㎡

#### 東海工場

事業内容：ダイカスト製品の製造  
月産能力：3,200t  
敷地面積：70,994㎡

#### 本社・テクニカルセンター

事業内容：製品の設計・研究開発  
敷地面積：18,067㎡

#### (株)アレスティ熊本

事業内容：ダイカスト製品の製造、機械加工、  
部品組付  
月産能力：500t  
敷地面積：34,342㎡

#### (株)アレスティダイモールド熊本

事業内容：ダイカスト製品用金型製作  
敷地面積：12,987㎡

# 企業情報・株式情報

## 企業情報

### 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号：株式会社アーレスティ  
 資本金：69億3,909万円  
 設立：1943年11月2日  
 従業員数：【連結】7,055名  
 【単独】883名

### 取締役 (2016年6月15日現在)

代表取締役社長  
最高執行責任者 高橋 新  
 取締役専務執行役員 野中 賢一  
 取締役専務執行役員 石丸 博  
 取締役常務執行役員 蒲生 新市  
 取締役常務執行役員 金田 尚之  
 取締役(監査等委員) 見目 康夫  
 社外取締役(監査等委員) 早乙女唯夫  
 社外取締役(監査等委員) 志藤 昭彦  
 社外取締役(監査等委員) 浜村 承三

## 株式情報 (2016年3月31日現在)

### 株式数および株主数

発行可能株式総数：60,000,000株  
 発行済株式の総数：26,027,720株  
 株主数：4,231名

### 所有者別株式分布状況

金融機関	個人・その他	外国法人等	その他の法人
29.7%	27.7%	25.7%	15.1%

金融商品取引業者 1.8%

### 株価・株式売買高の推移



## あゆみ

- 1938年6月 ● 当社の前身志村アルミニウム株式会社創立  
アルミニウム合金地金、ダイカスト製品、アルミニウム砂型鋳物の製造を開始
- 1943年11月 ● 扶桑軽合金株式会社を設立、ダイカスト製品、アルミニウム砂型鋳物の製造を開始
- 1960年3月 ● 株式会社日本精密金型製作所  
(現：株式会社アーレスティ ダイモールド浜松) を設立
- 7月 ● 扶桑軽合金株式会社浜松工場操業開始
- 1961年10月 ● 扶桑軽合金株式会社の株式を東京証券取引所第2部に上場
- 1962年4月 ● 東海精工株式会社(現：株式会社アーレスティブリテック) 設立
- 1963年3月 ● 京都ダイカスト工業株式会社豊橋工場(現：東海工場) 操業開始
- 1971年3月 ● 栃木フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ栃木) を設立
- 1972年3月 ● 株式会社ダイテック(現：株式会社アーレスティダイモールド栃木) を設立
- 1976年9月 ● 熊本フソー株式会社(現：株式会社アーレスティ熊本) を設立
- 1981年3月 ● 株式会社ダイテック熊本工場  
(現：株式会社アーレスティ ダイモールド熊本) 操業開始
- 1984年7月 ● 扶桑軽合金株式会社熊谷工場操業開始
- 8月 ● 扶桑軽合金株式会社東松山工場操業開始
- 1985年5月 ● パスカール販売株式会社(現：株式会社アーレスティテクノサービス) を設立
- 1988年5月 ● Ahresty Wilmington Corporation を設立
- 10月 ● 社名を扶桑軽合金株式会社より株式会社アーレスティに変更
- 1989年10月 ● 株式会社アーレスティ '89年度デミング賞実施賞(中小企業賞) 受賞
- 1997年2月 ● Thai Ahresty Die Co., Ltd. を設立
- 3月 ● 株式会社アーレスティ ISO9001(建材) 認証取得  
株式会社アーレスティ ISO9002(ダイカスト・アルミニウム) 認証取得
- 2001年3月 ● 株式会社アーレスティ ISO14001 認証取得
- 2002年7月 ● Thai Ahresty Engineering Co., Ltd. を設立
- 2003年8月 ● 広州阿雷斯提汽车配件有限公司を設立
- 10月 ● 京都ダイカスト工業株式会社と株式会社アーレスティが合併
- 11月 ● 第20回素材産業技術表彰にて「経済産業大臣賞」受賞
- 2005年3月 ● 阿雷斯提精密模具(広州) 有限公司を設立
- 4月 ● パスカール工業株式会社と菅原精密工業株式会社が合併し、社名を株式会社アーレスティ山形に変更
- 6月 ● 本社を東京都中野区中央に移転
- 2006年6月 ● Ahresty Mexicana, S.A. de C.V. を設立
- 9月 ● テクニカルセンター開設
- 2007年1月 ● Ahresty India Private Limited を設立
- 2010年8月 ● 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司を設立
- 2011年4月 ● 浜松工場と豊橋工場を統合し、東海工場として再編
- 2013年10月 ● 本店・本社を愛知県豊橋市に移転(旧本社を東京本社に)
- 2014年2月 ● 東京本社を東京都中野区本町に移転
- 3月 ● 東京証券取引所市場第2部から同市場第1部銘柄に指定
- 11月 ● 株式会社アーレスティ東松山工場 ISO/TS16949 認証取得
- 2015年1月 ● 株式会社アーレスティ東海工場 ISO/TS16949 認証取得

# Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research（研究開発）、Service（サービス）、Technology（技術）において常に主導的リーダーとして前進しようという企業姿勢を具現化したものです。なお、「Casting」は「投げかける」という意味の他に、当社の主要事業である「Die Casting」の意味も込めています。



株式会社 **アーレスティ**

東京本社

東京都中野区本町 2-46-1

中野坂上サンブライトツイン 5F

TEL 03-6369-8660 FAX 03-5358-5331

URL <http://www.ahresty.co.jp>

発行 2016年6月

